

# 市民ひろば

発行人 市民ひろば編集委員会  
三島市中央町3-32  
電話 090-5009-3640  
simozekiouji@yahoo.co.jp

ひろば新聞購読者募集  
購読料 無料  
連絡先  
090-5009-3640



## 今、揺れている消防の広域化、背景は消防のデジタル無線化 三島 裾野 長泉の消防を統合 三島市民にメリットはあるの？

総務省は電波の高度有効利用をはかるためとして、従来の電波利本部内に消防指令センターが完用状況をアナログからデジタルへと大規模な改変を進めている。既に、15年12月から運用が開始にテレビ電波等はデジタル化が完了しているが、全国の消防救急無線、デジタル移行への体制は既線のデジタル化を二〇一六年五月までに移行する流れである。それに整っている。そんな中で、あえに合わせるように、近隣の幾つかの自治体の消防を、市町の行政組織で消防の広域化を進める意味が織り込まれ、統合(広域化)する計画が持ち上がっている。



三島市消防庁舎

豊岡市長は消防が広域化すれば「2市1町の隣接地域の救急車の到着時間が5分以上短縮する。巨大地震、風水害など大規模災害への対応も含め、消防救急の能力が向上する」と強調している。しかし、消防現場ではさまざまな疑問の声が上がっている。消防広域化の目的は、消防救急力の強化、国からの財政支援が上げられる。

消防力の強化は可能だが、どこや現在の装備や人員を一つにまとめるだけという。また、市長の言う隣接地域の救急の到着時間が5分短縮という急の三島北上地区は裾野茶畑の消防分遣隊が守備範囲となるから、広域消防の中央署が出来れば、茶畑分遣所は閉鎖されるので意味が無いという。2市1町の中で装備、人員が最も多いのは三島市で、その消防隊が三島市の行政組織から離れ、守備範囲が2市1町に拡大することになり、三島市民への行政サービスの低下は目に見えている。

国からの財政支援についても広域化に向けた具体的計画は、今日の子どもが明日の大人だ子どもには子どもの世界がある子どもには子どもの人生がある子どもから喜びを奪いとるな子どもも喜びを満喫させよう子どもは世界に生きるとき子どもは人生の喜びを知る子どもに子どもを今日と与えよ子どもに子どもを今日の喜びと与えよ

黙示録 4重衝突の重大事故を起してしまった。4台の車は大破。だが別に良い車を持っていないので、今度はそれを運転して出勤...などあり得ない話。まず事故を起こした当事者は自首し、事故原因を明らかにし、罪に服するものだ。死者が出れば裁判の末、実刑判決を受けて服役。逃げ回れば刑はより重くなる。免許はもちろん取消、一生運もつ運転などできないかもしれない。

ところがそれとはとても比較にならないような過酷事故を起して、4年間も逃げ回っている例がある。私たち静岡県東部にも電力を販売している東京電力株式会社だ。その会社が、「原子力安全改革プラン」に基づき改革を進めているとのこと。この原子力安全とは、同社によれば、原子力発電、再処理、使用済み核燃料貯蔵等の原子力事業を安全に進めることだといふ。

だが同社は4年前末未曾有の原子力過酷事故を起し、静岡県でかねてより危惧されてきた原発震災を福島で現実のものとしてしまった。今最先に果たすべきは、事故の責任を取り、空や海へ放射能放出を続ける事故を収束させ、被害者への賠償を速やかに済ませることではないか。それを率先して範を示すのがトップのはずだ。

戦後の平和主義や民主主義がないがしろにされ、市民の声が政治や行政に届きにくくなった。東日本大震災や福島原発事故にしても、復興はいつか進まなず、事故当時はあれほど叩かれた原子力村も息を吹き返した。原発反対の国民が7割近くいるというのに、原発推進は改められようともしない。

これではいけない！私達の足元から、身近な生活の中から、隠された真実を明らかにすること。政治に正義を打ち立てること。本道の民主主義を甦らせること。そんな思いで、私たちは市民活動の可能性を追求する方法として

市民ひろば新聞発刊に当たって行政の「勝手」、議会の「なまくら」を監視する！  
小出正吾生誕の地に「市民ひろば」開設

やがて大人の明日がくる子どもには子どもの人生がある子どもも今日の喜びを与えよ子どもを小さな大人にするな子どもを小びとに仕立てるな

やがて大人の明日がくる子どもには子どもの人生がある子どもも今日の喜びを与えよ子どもを小さな大人にするな子どもを小びとに仕立てるな

小出正吾の詩  
子どもには子どもの世界がある  
子どもは人生の喜びを知る  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ

小出正吾の詩  
子どもには子どもの世界がある  
子どもは人生の喜びを知る  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ

小出正吾の詩  
子どもには子どもの世界がある  
子どもは人生の喜びを知る  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ

小出正吾の詩  
子どもには子どもの世界がある  
子どもは人生の喜びを知る  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ  
子どもに子どもを今日の喜びと与えよ



市民ひろば入口

児童文学者 小出 正吾  
明治30年〜平成2年  
(一八九七〜一九九〇)

が、三島市の現中央町に、子どもには子どもの世界があるといふ顕彰碑を作りました。H

が、三島市の現中央町に、子どもには子どもの世界があるといふ顕彰碑を作りました。H

**パソコン教室生徒募集**  
会場 三島市中央町3-32 小出ビル3F  
・パソコンは各自持ち込み(1回5人まで)  
費用は1人1時間30分で1000円  
内容:ワード、エクセル、パワーポイント  
画像処理、各種ソフトの使い方、  
パソコンの分解修理  
連絡先 090-5009-3640 (堀)

3.11 福島原発震災から4年  
**市民ひろば・オープン記念講演**  
気づけば原発事故避難民」  
2015年3月15日(日)1時半~3時(開場1時)  
会場:市民ひろば(裏面会場案内参照) 入場無料  
お話 古川好子さん(福島県双葉郡富岡町 避難先は会津若松市)  
主催:福島原発告訴団・静岡/市民ひろば/原発震災を防ぐ風下の会  
問合せ:市民ひろば ? 080-3061-1561

映画『日本と原発』上映会  
**3月28日(土)**  
三島市民生涯学習センター  
**3階講義室**  
昼の部:14:00 夜の部:18:00  
30分前開場 上映時間2時間15分  
チケット代700円 高校生以下無料  
連絡先 055-971-4936 (大沼)